

こんにちは



議会です!

きたもと議会だより



北本の行事シリーズ

小学校入学式

4月8日(金)に市内各小学校にて入学式が行なわれました。満開の桜の下、536名の新入生が緊張と期待を胸に小学生としての第一歩を踏み出しました。

主な内容

3月定例会…
一般質問… ~
委員長報告…
提出案件の結果等…

会期日程

2月21日(月)本会議(開会)
2月22日(火)議案調査日
2月23日(水)議案調査日
2月24日(木)議案調査日
2月28日(月)本会議(総括質疑)
3月1日(火)本会議(委員会付託)
3月2日(水)委員会(総務文教・保健福祉)
3月3日(木)委員会(建設経済)
3月4日(金)委員会(総務文教・保健福祉)
3月7日(月)委員会(建設経済)
3月9日(水)本会議(一般質問)
3月10日(木)本会議(一般質問)
3月11日(金)本会議(一般質問)
3月17日(木)本会議(閉会)

No 76

平成23年(2011)5月1日発行
編集 議会だより編集委員会
発行 北本市議会
北本市本町1-111
TEL 048-591-1111
FAX 048-591-6335
www.city.kitamoto.saitama.jp/

3月定例会

平成23年度

一般会計予算を原案可決

6 特別会計予算を原案可決

一般会計予算は189億円、前年度比4.8%の増

2月21日から3月17日までの25日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案23件、議員提出議案2件、委員会提出議案1件、を慎重に審議しました。

特に、平成23年度北本市一般会計予算については、第四次北本市総合振興計画に基づき、主に左記の施策の実現を図るものですが、起立多数により原案のとおり可決しました。その他の議案の審議結果は、8ページをご覧ください。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第1号 平成23年度北本市一般会計予算について

総括質疑通告者

- 横山 功(平成会)
- 中村洋子(共産党)
- 桂 祐司(みんなの会)
- 岸 昭二(公明党)
- 吉住武雄(緑風政策)

通告順に掲載

Q 平成23年度予算で目指すものについて

- A、本市の将来都市像である、緑にかこまれた健康な文化都市の実現を図るために、様々な事業の実施を予定していますが、その主な施策について、第四次北本市総合振興計画に基づき、7本の柱に沿って説明します。
- 1 未来につながる夢のある学びのまちでは、学力向上支援員の配置等により、きめ細かな指導を実施するとともに、継続して小・中学校の耐震補強等工事を推進し、学校施設の充実を図ります。
 - 2 心かよう健やかなまちでは、子宮頸がん予防ワクチン等の予防接種を拡充し、また、多様なニーズに対応した

- してデマンドバスの本運行を開始します。
 - 5 「業」を耕す活力のまちでは、継続して農業、商工業の振興を図るとともに、産業振興課を産業観光課と改めより多くの方に北本へ来ていただくように、観光資源の発掘・活用や情報発信に取組みます。
 - 6 みんなでつくる参加と交流のまちでは、継続して平和、人権意識の高揚を図り、男女共同参画社会を推進するとともに、消費生活相談窓口を毎日設けるよう拡充します。
 - 7 計画の推進に向けてでは、市民と市との協働を推進するとともに、これまで市民の皆様と取組んだ行政改革の成果として、個人市民税の10%減税を実施します。
- 特に、子育て、南部地域の整備、減税については、大きな割合を占めており、また、観光については、新たな取組みも多く、重要な事業となります。これらの主要な事業を始め、平成23年度予算に計上した各種事業を適切に実施することにより、本市の将来都市像の実現に向けて積極的な取組みを進めていきたいと考えています。

庁舎建設特別委員会 委員長 報告

平成20年第3回北本市議会定例会において付託され、閉会中の継続審査となつていました庁舎建設に関する件について、審査が終了しましたので報告します。

- (1) 建設規模について
専門家等の工学的知見や分析を活用し、市民の理解を得ながら庁舎の規模を決定する。
- (2) 建設事業費について
原則、庁舎建設基金(25億円)の範囲内とする。
- (3) 建設時期について
可及的速やかに実施する。

【紹介】

今定例会において同意されました方々を紹介します。

- 埼玉県中央域公平委員会委員
住所 桶川市大字下日出谷 943番地100
氏名 杉浦 信剛氏
- 人権擁護委員
住所 北本市朝日4丁目 238番地
氏名 柳井 悦子氏
- 住所 北本市石戸6丁目 206番地
氏名 小島 治人氏

市政に対する一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ質問事項を

通告し、執行部の答弁を求めます。

今定例会では、13人の議員から48件79項目について質問がありました。

その中から主なものの答弁を掲載しました。

公共施設の老朽化

問1 公民館の耐震診断は済んでいるのか

答1 昭和56年以前に建築された勤労福祉センターとコミュニティセンターの2施設は法改正後の耐震基準を満たしておらず、耐震補

強工事を実施する必要があります。

これらの施設の耐震診断はまだ実施していないところですが、耐震診断や耐震補強工事は一度にすべての施設に実施することは困難ですので優先順位をつけ順次計画的に進めていきたいと考えています。

問2 利用者の高齢化により、トイレの洋式化、エレベーターの設置計画は

答2 バリアフリー対応についても計画的に進めていく必要があると認識しています。今後は財源の確保が課題となってくると考えています。

問3 和室で足の不自由な方、正座ができない方にいすを用意することはできないか

答3 状況を調査しながら調査研究していきたいと考えています。

地元企業の育成策

問1 大規模工事の入札方法の工夫について

答1 公共工事では発注の基準の等級が定められ、工事の大きさによってランクづけがされています。

基本的に1億5,000

万円を超えるA級の工事は、原則的にはA級の業者が行うことになっており、今年度は、学校の校舎や屋内運動場の耐震補強及び大規模改修工事など、A級の工事が4本発注になりました。

北本市にはA級で市内に本社を有する業者が1社ありますが、県土整備事務所管内の業者、県内に本店を有する業者など、その規模によって枠を広げて一般競

争入札を行ったところです。

問2 市内業者の育成の取り組みについて

答2 平成21年度の土木建築工事等に係る入札状況では、発注件数の約75%が地元事業者の受注となっております。このほかにも、分離

発注により、地元事業者の入札参加機会の確保や、工事の分割発注による地元事業者の受注機会の拡大等に配慮しているところです。

3月定例会 一般質問

質問通告順に掲載

伊藤堅治（平成会）

・石津市長3期目の出馬

・西口駅前広場整備

・農業や商業などと連携した観光施策の推進

他1件

大澤芳秋（緑風政策）

・市民税減税

・コミュニティバスの運行

・独居高齢者の見守り活動

他1件

福島忠夫（平成会）

・南団地下水处理場

・市民税10%減税

・人口対策

中村洋子（共産党）

・公共施設の老朽化

・ゴミ減量

・働き続けるための手立て

他1件

脳ドック検診

問1 人間ドック検診における医師会との協議について

答1 人間ドック検診に特定健康診査項目を網羅することにより、人間ドック検診受診者を特定健康診査

受診者に算入できることから、特定健康診査受診率向上に資するための改正を行うこと、人間ドック検診対象医療機関を桶川北本伊奈地区医師会の指定医療機関に限定しているが、これら以外の医療機関も対象とすることにより、被保険者の医療機関選択の範囲を拡大するための改正を行うこと、補助金の額を定額2万円から検診料に10分の7

を乗じて得た額に相当する額とし、限度額を2万円とするための改正を行うこと、この3点について、桶川北本伊奈地区医師会と協議し、合意できましたので、平成23年度から実施するための関係要綱等の改正手続を現在進めています。

問2 脳ドック検診の助成は

答2 脳ドック検診の助成についても、本市で導入することについては、医師会の合意をいただきました。今後、人間ドック検診と脳ドック検診の選択により実施するのが、各年度両方も助成するのか、助成額をどのように設定するのか、対象とする医療機関をどのようにに設定するのか、などといった実施方法や財源について検討し、できるだけ早い時期に実施していきたいと考えています。

住基カード

問1 発行者数について

答1 平成22年4月から平成23年2月28日までの発行枚数は「写真なしのもの」が154枚、「写真つきのもの」が822枚、合計で976枚、そのうち2月の

発行は600枚でした。

これは、住民票の写し等のコンビニ交付事業の実施に伴い住民基本台帳カードの無料交付キャンペーンを行ったことによるものです。

問2 土曜日の午前中に発行している証明書の種類と件数は

答2 市民課の土曜開庁は、平成16年8月から行っております。発行している証明書の種類は戸籍関係の諸証

明、住民票の写し、印鑑証明書、身分証明書等で基本的にこれら証明発行が主要な業務です。



平成24年3月まで交付手数料は無料です

高橋節子（緑風政策）

- ・地産地消・食育の推進
- ・一般住宅の耐震診断・補強工事
- ・生活道路の整備と排水対策

他1件

阪井栄見子（公明党）

- ・本市の「バリアフリー新法」に基づく目標の達成度
- ・脳ドック検診の助成
- ・女性センターの設置

他1件

島野和夫（公明党）

- ・福祉タクシー券の拡充
- ・「放課後子ども教室」の拡充
- ・小中学校のプール改修

他2件

串田英夫（みんなの会）

- ・「埼玉にコウノトリ、トキ」という夢を現実に未来の子どもたちへプレゼント
- ・学校施設の耐震工事は順調に進んでいるが、周辺の危険箇所の調査は

FOPとは。大変な難病です、理解を

他2件

個人市民税 10%減税

問1 減税の目的について

答1 個人市民税の減税は、平成21年度決算の剰余金の一部を、これまで進めてきた行政改革等の成果として市民に還元し、市民の税負担を軽減することを目的とするものです。

問2 広報による周知について

答2 減税は議案可決後に新聞にも取り上げられ、報道で知った市民の皆様も多いと思います。広報きたもと11月号に減税の実施と概要について記事を掲載し、市のホームページにも掲載しました。

問3 納税者への通知について

答3 平成23年度の市民税・県民税の税額決定通知書に課税の額とともに減税額を表示しますので、それで減税を実感いただけるものと考えています。なお、税額決定通知書については、6月上旬ごろまでにお手元に届くと思います。

問4 減税を継続するの
か

答4 今回の個人市民税の減税については、平成21年度の決算剰余金の一部を活用して減税基金に積み立て、減税に伴う減収分に充てるもので、1年限りの実施となります。減税の継続については、何よりも財源をどうするのか、市の財政状況や今後の財政の見通し等を踏まえ、実施すべき施策の検討などを尽くした上での判断が必要と考えています。

小中学校の プール改修

問 西小学校や中丸小学校のプール改修が行われたが、今後の計画はどのようなになっているのか

答 平成22年度に改修工事が完了した西小学校及び中丸小学校のプールについて

は、槽内を低学年用コース、高学年用コースに分け、低学年コースは水深を浅くする構造とし、また、学校力

ラーをワンポイントに塗装するなどして、安全で明るいプールに生まれ変わりました。



学校プールの改修については、様々な財源の確保に努める必要があります。他の学校についても安心・安全で、子ども達が楽しく水泳学習に望めるプールにするため、計画的に順次改修工事を行えるよう進めていきます。



改修工事でコースが分けられた西小学校プール

金子眞理子（緑風政策）

・人材育成
・高齢者・独居世帯の状況把握
・子育て支援は「親育て」

工藤日出夫（緑風政策）

・アートと地域の交流拠点づくり事業

吉住武雄（緑風政策）

・証明書自動交付機の設置
・育児休暇
・水辺プラザ命名権

湯澤清訓（共産党）

・国民健康保険税の減免拡大を求めて
・コミュニティバスの導入を求めて
・住宅リフォーム助成制度の創設を求めて

他2件

黒澤健一（平成会）

・北本市の財政健全化
・市制40周年、弘前市との観光友好都市の締結
・地元企業の育成策

街路灯のワット数と照度

問1 街路灯は防犯灯でもあり、適切な明るさは保たれているのか

答1 社団法人日本防犯設備協会が定めた基準やJIS基準からも、道路照明施設の明るさは水平照度の平

均値が3ルクス以上、4メートル先の歩行者の挙動や姿勢がわかる程度の明るさであることが望ましいと考えられます。

北本市交通安全施設の設置に関する基準では、夜間における交通の安全及び防犯上必要と認められる場所で、その設置間隔は概ね30メートルとされています。市が設置している一般的な20ワットの街灯の場合は

直下で5ルクス以上の照度がありますが、10メートル離れると1ルクス以下になるようで、街灯の中間部分では少し暗く感じられると思います。

道路照明施設が少なく、夜間の防犯上好ましくない箇所には、街灯設置場所にお住まいの方にご理解をいただきながら設置に努め、安心・安全のまちづくりを進めたいと考えています。

問2 温暖化対策としてLED電球への取り替えは

答2 一般的に20ワットの街灯の場合、1か月当たり175円31銭と聞いています。8・5ワットのLEDライトの場合、108円66銭です。蛍光灯設置費用は7,000円程度になります。LEDライトは1万8,000円ほどになります。今後、予算との関係も含め検討していきます。

農産物直売所

問1 新設の西部地域農産物直売所と地域の連携について

答1 平成23年度は、仮設の農産物直売所を設置し、運営方法等を含めて試験的に運用していきたいと考え

ています。

市民による自主的な運営が可能であれば、その方向で協議を進め、農産物販売のみならず、消費者の緑との触れ合いや、地域住民と消費者との交流といった付加価値が生まれることを期待しています。

問2 組織の変更で産業観光課になる意義は

答2 西側に直売所を設置して地域との連携を図り、

観光の誘致を考えています。

将来的には直売所を軌道に乗せて、観光の拠点となるような産直品のほか、市の特産品等のお土産になるような商品の販売や、観光案内の機能も備えた施設へ発展させていければ来訪者に対しても十分魅力を感じていただけるものと期待しています。



北本市議会ホームページリニューアルのお知らせ

北本市議会のホームページが3月よりリニューアルされました。ご覧いただく方法は下記のとおりです。

北本市ホームページ (<http://www.city.kitamoto.saitama.jp/>) を開く

右側メニューの「ようこそ北本市議会へ」のバナーをクリック



総務文教

Q. 小学校プールの改修事業について
A. 今年度は、西小学校と中丸小学校の改修工事を実施し、非常にきれいになりました。

平成23年度は、昭和54年に建設された東小学校のプールサイドの床のコンクリートにひびやはがれがあり、児童が裸足で歩行するには大変危険な状況であり、また、ろ過機の調子も悪いため、東小学校のプールの改修工事を実施する予定です。

今後、南小、栄小、北小など30年以上経過している小学校のプールについては、年度計画を立てて、順次、全面改修工事を実施していきます。

保健福祉

Q. 国保税の減収傾向及び軽減措置導入の影響について

A. 一般被保険者分では前年比8,958万2,000円の減となっています。北本市に限らず国民健康保険の全体的な傾向ですが、本市でいえば、被保険者に占める60歳以上の割合が52.4%、半数以上が60歳から74歳という高齢者であり、所得を見ると、100万円未満の世帯が全体の57.2%を占めています。昨年の12月定例会で可決された低所得者の軽減措置については、現行6割、4割軽減から、7割、5割、2割軽減へと拡大しますが、この軽減分については、一般会計からの繰入金の中に保険基盤安定負担金として見込んでいます。

建設経済

Q. 北本市内共通プレミアム付き商品券の上乗せ分を5%や10%などではなく、さらに上乗せしてはどうか

A. 今回計画しているプレミアム商品券は、プレミアム分は10%上乗せを予定しています。また、その10%分の他に5%分を販売促進の費用に充てることが、商工会との話し合いの中で決められました。

今後も継続ができるかどうかを考えると、プレミアム分をより多くするよりも、販売促進費用を支援することにより、個店の方々の工夫で、活性化につながるような取り組みをしていただいたほうが、継続性を担保できるのではないかと考えています。



Q. 北本市内共通プレミアム付き商品券発行事業補助金の950万円の内訳について

A. 商品券のプレミアム分が500万円、販売促進の費用が250万円、残りの200万円は事務経費で、商品券の印刷代、広告代等に充当されることになっています。



前回発行されたプレミアム付き商品券

主な提出案件の結果一覧

議案名	議決結果	緑風政策フォーラム	平成会	公明党	共産党	みんなの会
平成 23 年度北本市一般会計予算	可決				×	
平成 23 年度北本市後期高齢者医療特別会計予算	可決					
平成 23 年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計予算	可決				×	
平成 23 年度北本市公共下水道事業特別会計予算	可決					
平成 23 年度北本市国民健康保険特別会計予算	可決					
平成 23 年度北本市介護保険特別会計予算	可決					
平成 23 年度埼玉県央広域公平委員会特別会計予算	可決					
北本市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決					
北本市敬老祝金条例の一部改正について	可決					
北本市学童保育室設置及び管理条例の一部改正について	可決					
市道の路線の認定について	可決					
埼玉県央広域公平委員会の選任について	同意					
人権擁護委員候補者の推薦について(議案第 8 号)	同意					
人権擁護委員候補者の推薦について(議案第 9 号)	同意					
平成 22 年度北本市一般会計補正予算(第 9 号)	可決					
平成 22 年度北本市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	可決					
平成 22 年度北本市老人保健特別会計補正予算(第 2 号)	可決					
平成 22 年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計補正予算(第 4 号)	可決					
平成 22 年度北本市公共下水道事業特別会計補正予算(第 4 号)	可決					
平成 22 年度北本市国民健康保険特別会計補正予算(第 4 号)	可決					
平成 22 年度北本市介護保険特別会計補正予算(第 3 号)	可決					
工事請負契約の締結について	可決					
議員・委員会提出議案						
埼玉新都市交通ニューシャトルを内宿駅から JR 高崎線桶川・北本間新駅まで延伸整備することを求める意見書	可決				×	
公共交通機関のバリアフリー化の更なる推進を求める意見書	可決					
北本市新庁舎建設に関する決議	可決					

*上記以外に 1 件の議案審議がありました。挙手全員により原案のとおり可決しています。



は議案に対して賛成の会派
 ×は議案に対して反対の会派
 は議案に対して賛成と反対のあった会派

各会派の議員数 緑風政策フォーラム【6人】、平成会【5人】、公明党【3人】、共産党【2人】、みんなの会【2人】

委員	副委員長	委員長	議会だより編集委員		
中村洋子	岸昭二	桂祐司	金子眞理子	黒澤健一	金澤眞理子

編集後記

東日本を襲った大震災。自然の脅威をまざまざと見せつけられたことで、現在の北本市役所は、大地震で倒壊する可能性が極めて高いことが分かり、改めて恐ろしさがかみ上げてきた多くの市民の安心と安全のために、一刻も早い整備が望まれる。市民と創る「日本一機能的で質素な防災拠点」の実現こそ喫緊の課題だ。一方、未だ決定もしていない庁舎基本設計を「豪華、デザイン優先」と決めつけ、市民の不満を煽る向きもある。大切なのは、危機管理拠点の速やかな整備だ。私は、新庁舎建設を政争の具とすることを許さない。私には、守るべき命がある。(祐)